

令和2年3月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年4月24日

I. 概況

1. 売上高総額	929億円余
2. 前年同月比	-34.6% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-36.5%(88.0%) : 非店頭-15.5%(12.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	839,051㎡ (前年同月比:0.1%)
6. 総従業員数	16,678人 (前年同月比:-2.6%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	8-10月 1.5%、9-11月 -1.7%、10-12月 -8.1%、 11-1月 -3.5%、12-2月 -5.6%、1-3月 -17.2%

[参考] 平成31年3月の売上高増減率は0.6%

【特徴】

- (1) 3月の東京地区は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、都内各店で時短営業・臨時休業の実施や大型イベントを中止したほか、地域行政から外出自粛要請が行われたことなどから、入店客数(39.7%減/6か月連続)が大幅に減少した。
- (2) また、入国制限によるインバウンド需要の消失も大きく影響した結果、売上高は34.6%減(6か月連続)と、全国(33.4%減)同様、過去に例のない厳しい商況となった。
- (3) 食料品(22.5%減)は、集客の核となる物産催事が中止になったことや、花見自粛で弁当やパーティ惣菜が苦戦し落ち込んだ半面、宅配需要やオンラインショッピングが伸長したほか、家飲みの増加で和洋酒が好調だった。
- (4) 衣料品(40.3%減)は、卒業・入学のオケーション需要の低下、更には外出自粛やテレワーク推進による都内通勤者の減少で、スーツ、コート、ジャケット等のアウターが苦戦した。身のまわり品(42.4%減)もパンプスやハンドバッグ等春物全般の動きが鈍かった。
- (5) 4月中間段階の商況は、4月7日の「緊急事態宣言」を受け、首都圏の多くの店が8日以降、臨時休業や食品フロアのみ営業をしている影響で、77.9%減(4/16)と一段と厳しい状況で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.2日 (前年同月比 -0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数16店舗)
①増加した:0店、②変化なし:0店、③減少した:16店
- (3) 3月歳時記(ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した:1店、②変化なし:1店、③減少した:11店

東京地区百貨店 売上高速報 2020年3月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	92,911,831	100.0	-34.6 (-34.7)
紳士服・洋品	6,714,420	7.2	-40.8 (-40.8)
婦人服・洋品	13,523,821	14.6	-45.6 (-45.6)
子供服・洋品	4,674,948	5.0	-21.2 (-21.2)
その他衣料品	1,446,381	1.6	-29.0 (-29.0)
衣 料 品	26,359,570	28.4	-40.3 (-40.3)
身のまわり品	11,834,440	12.7	-42.4 (-42.4)
化粧品	9,961,306	10.7	-40.6 (-40.6)
美術・宝飾・貴金属	6,280,847	6.8	-30.3 (-30.5)
その他雑貨	3,642,853	3.9	-36.3 (-36.3)
雑 貨	19,885,006	21.4	-36.9 (-36.9)
家具	1,429,838	1.5	-7.8 (-7.8)
家電	601,047	0.6	-13.9 (-13.9)
その他家庭用品	2,395,892	2.6	-33.9 (-33.9)
家 庭 用 品	4,426,777	4.8	-24.6 (-24.6)
生 鮮 食 品	3,616,527	3.9	-8.6 (-8.6)
菓 子	7,866,677	8.5	-30.5 (-30.7)
惣 菜	4,662,534	5.0	-27.6 (-27.6)
その他食料品	7,730,342	8.3	-14.9 (-14.9)
食 料 品	23,876,080	25.7	-22.5 (-22.6)
食 堂 喫 茶	1,378,500	1.5	-53.2 (-53.3)
サ ー ビ ス	1,598,185	1.7	-33.6 (-33.6)
そ の 他	3,553,273	3.8	-5.0 (-11.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,961,797 千円	-20.7 (-20.7)
従業員数	16,678 人	-2.6
店舗面積	839,051 m ²	0.1
営業日数	30.2 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。また、全国同様、その他の品目も全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-34.6	—	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-40.8	-3.3	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-45.6	-8.0	6か月連続マイナス
子供服・洋品	-21.2	-0.9	6か月連続マイナス
その他衣料品	-29.0	-0.4	6か月連続マイナス
衣料品	-40.3	-12.5	6か月連続マイナス
身のまわり品	-42.4	-6.1	2か月連続マイナス
化粧品	-40.6	-4.8	6か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-30.3	-1.9	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-36.3	-1.5	6か月連続マイナス*
雑貨	-36.9	-8.2	6か月連続マイナス
家具	-7.8	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	-13.9	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-33.9	-0.9	6か月連続マイナス
家庭用品	-24.6	-1.0	4か月連続マイナス
生鮮食品	-8.6	-0.2	18か月連続マイナス*
菓子	-30.5	-2.4	2か月連続マイナス*
惣菜	-27.6	-1.3	2か月連続マイナス*
その他食料品	-14.9	-1.0	2か月ぶりマイナス*
食料品	-22.5	-4.9	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-53.2	-1.1	6か月連続マイナス
サービス	-33.6	-0.6	6か月連続マイナス
その他	-5.0	-0.1	5か月ぶりマイナス
商品券	-20.7	-0.4	18か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>